江戸時代初期の貿易と禁教

ポイント１　江戸(えど)初期の貿易

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

①　朱印(しゅいん)船貿易

貿易には＿**朱印状**＿が必要

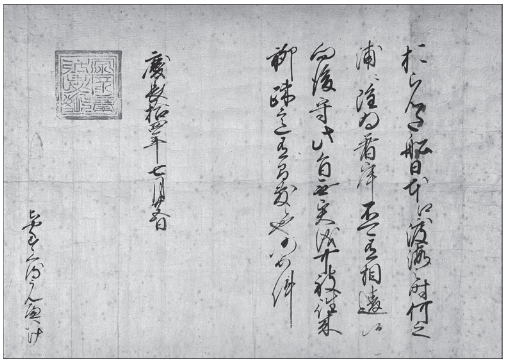
朱印状：幕府が発行した東南アジアとの貿易許可証

　　　　朱印状を持った船を朱印船と呼ぶ

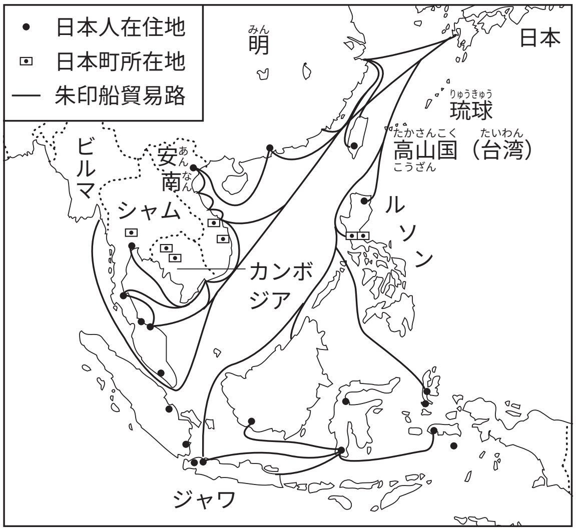
　　　　↓

日本人が東南アジアに移り住んで＿**日本町**(にほんまち)＿ができる

資料1　貿易に使われた朱印状



資料2　朱印船の航路と日本町



②　オランダ・イギリス（紅毛人(こうもう)）との貿易

新しく来航したオランダ・イギリスとも貿易を行う

平戸(ひらど)（長崎県）に商館が置かれる

　↓

イギリスはのちに撤退

オランダはのちに長崎の出島(でじま)に移転

輸入	生糸(きいと)・絹織物・染料(せんりょう)・象牙(ぞうげ)など
輸出	銀・銅・工芸品など

ポイント2　キリスト教の禁教

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 江戸幕府による禁教の背景

徳川家康は初めキリスト教徒を黙認

↓

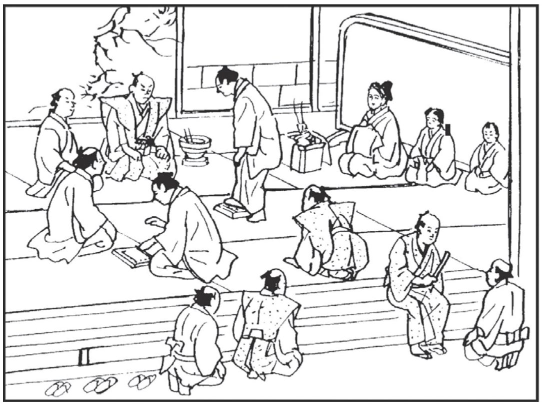
しかし，領主への忠義をキリスト教の教えが上回ることに危機感を持ち始める

② 江戸幕府による禁教の強化

禁教令	キリスト教を禁止する命令
絵踏（えふみ）	キリシタンを発見するための方法 イエスやマリアの像などを踏ませる
宗門改（しゅうもんあらため）	キリスト教の禁教を徹底して仏教徒であることを証明させる信仰調査 結果を宗門改帳に記載する

資料3 踏絵（ふみえ）

資料4 絵踏の様子



③ 禁教への抵抗

1637～38年　**島原（しまばら）・天草一揆（あまくさいっき）（島原の乱）**

中心人物：天草四郎時貞（あまくさしろうときさだ）（益田（ますだ）時貞）

場所　　：島原（長崎県）・天草（熊本県）

内容　　：領主によるキリシタンの迫害や厳しい年貢（ねんぐ）の取り立てに対する一揆

↓

幕府は大軍を送って鎮圧（ちんあつ）する

ポイント 3 鎖国(さこく)への歩み

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

鎖国：日本人の海外渡航(とこう)を禁止し，外国との貿易を制限した状態

年代	将軍	できごと
1616年	徳川秀忠(とくがわひでただ)	ヨーロッパ船の来航を平戸(ひらど)と長崎に制限
1623年		イギリス船が自ら退去
1624年	徳川家光(いえみつ)	スペイン船の来航禁止
1633年		日本人の海外渡航・帰国を制限
1635年		日本人の海外渡航・帰国を禁止→朱印船貿易終了 外国船の入港を平戸・長崎に限定
1639年		**ポルトガル船**の来航禁止
1641年		平戸のオランダ商館を長崎の**出島**に移す →**鎖国**の完成

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 江戸時代初期，幕府が発行した東南アジアとの貿易許可証を持った者にだけ許された貿易を何というか。　**朱印船貿易**

(2) 朱印船貿易によって，日本人が東南アジアに移り住んでできた町を何というか。　**日本町**

(3) キリシタンの発見のために，役人の前でイエスや聖母マリアの像を踏ませることを何というか。　**絵踏**

(4) 1637年に，領主によるキリシタンの迫害や厳しい年貢の取り立てに対し，現在の長崎県や熊本県で起こった一揆を何というか。　**島原・天草一揆**

(5) ポルトガル船の来航を禁止し，平戸にあったオランダの商館を長崎の出島に移したことで完成した外交体制を何というか。　**鎖国**